

事業検証シート

基本目標	子育て・教育	地域全体で子育て・子育てをしっかりと支えるまち			
施策名	子育て支援の充実				
基本事業名	安心して子どもを産み育てられる環境づくり				
事業名	妊娠期からの切れ目のない子育て支援	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続			
目的	妊娠期から子育て期までの切れ目のない相談・支援体制を整え、安心して子どもを産み育てられる環境づくりを推進する。				
手段	助産師などを活用した訪問・相談事業の実施や子育て情報配信システムの導入などにより、子育て支援体制の充実を図る。				
事業開始年度	平成29	年度	事業終了年度	年度	
成果指標	現状値の推移			目標値	
	平成29年度 (2017)	平成30年度 (2018)	令和元年度 (2019)	令和2年度 (2020)	
産後うつスクリーニング高得点者割合	5.8%	9.3%	9.8%	0%	
	平成29年度 (2017)	平成30年度 (2018)	令和元年度 (2019)	令和2年度 (2020)	
事業費 (単位：千円)	4,624	3,996	4,132	6,151	
備考	養育支援訪問事業については、「子ども・子育て支援交付金」を活用。 入院を要する乳児をもつ母親へのアクセス支援事業については、「青森県ハイリスク妊産婦アクセス支援事業費補助金」を活用。				
事業実績	実施内容				
	妊娠期から助産師等による訪問支援や相談事業を実施し、出産後は養育支援が特に必要と認められる家庭を対象に、保育士等が訪問し、指導・助言を行った。				
	事業実績（成果指標以外）	平成29年度 (2017)	平成30年度 (2018)	令和元年度 (2019)	令和2年度 (2020)
	妊婦家庭訪問（実施率）	91.2%	93.8%	95.2%	*
	養育支援訪問事業（利用者世帯数、延利用世帯数）	—	5世帯 10世帯	11世帯 39世帯	
	ほっとマミーサロン（実施回数、延利用者数）	24回 167人	42回 282人	41回 292人	
	入院を要する乳児をもつ母親へのアクセス支援事業（申請数）	13人	9人	8人	
子育て情報配信システム登録数（登録者数、アクセス数）	219人 42,219人	456人 98,722人	577人 114,265人		
事業評価	妊娠期からの相談・支援体制づくりに努めているが、育児支援や協力が得られないなどの背景から、成果指標である産後うつスクリーニング高得点者割合は9.8%と、前年度より高くなった。産後うつの発症率は10～15%と言われており、スクリーニング高得点者の不安定な状況が重症化や長期化しないよう支援をしていく必要がある。 スクリーニング高得点者には助産師等による継続支援を行い、次回スクリーニング時には約81%の産婦に改善が見られている。				
達成状況	<input type="checkbox"/> 達成できた <input type="checkbox"/> おおむね達成できた <input checked="" type="checkbox"/> 達成できなかった <input type="checkbox"/> その他				
今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> さらに重点化を図る <input type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 内容を改善して継続 <input type="checkbox"/> 事業の統廃合を図る <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 完了				
上記理由	育児不安のある妊産婦が増えていることから、助産師等による支援体制を強化し、妊産婦の孤立感や育児不安の軽減を図る必要がある。				
今後の改善内容	<ul style="list-style-type: none"> ・令和2年4月子育て世代親子支援センターを開設し、母子健康手帳を交付を担当した助産師等が生後4か月まで継続して支援する体制を作り、ハイリスクや特定妊婦には支援プランを作成し支援の充実を図る。 ・妊産婦が地域や家庭内で孤立しないよう、親同士の交流の場であるほっとマミーサロンの実施回数を増やす等支援の強化を図る。 				